

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 31日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 大阪市中央区北浜一丁目8番16号

氏 名 日本メックス株式会社 関西支店

取締役支店長 立川 雅司

電話番号 06-4706-5624

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本メックス株式会社 奈良営業所
事業場の所在地	奈良県奈良市大安寺5丁目11-1
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 50,232万円
③ 従業員数	7名
④ 産業廃棄物の一運の処理の工程	(解体等工事) がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化。 廃プラスチック→再生処理業者に委託して再資源化。 混合廃棄物等→中間処理業者に委託して分別のうえ再資源化。 石綿含有産業廃棄物→最終処分場に委託。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ◆工事部長・営業所長
作業所長の指導、教育。廃棄物の適正処理に関する管理運営。電子マニフェスト総括管理、マニフェスト交付及び回収管理。行政への届出及び報告。
↓
- ◆安全・品質管理部
協力会社への指導教育。各作業所品質環境計画書の確認及び指導。
↓
- ◆作業所長
作業所内の廃棄物に関する業務総括。品質環境計画書作成。工事部長への産業廃棄物処理に関する定期報告。
↓
- ◆産業廃棄物処理責任者
 - ①委託処理会社の現地確認及び選定。
 - ②廃棄物適正処理、分別状況の確認。
 - ③再生資源利用及び促進状況の確認。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工法の改善による産業廃棄物の減少		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 梱包材の簡素化及び繰り返し使えるものへの変更。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体等工事では事前調査を行い、アスベスト含有廃棄物は他の廃棄物に混入しないよう計画し、分別処分を実施。 コンクリート塊は確実に分別を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え石膏ボード、金属くず、廃プラ、ガラス陶器くずについても分別を促進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和 4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和 4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熟回収業者への処理委託量	t	t
	認定熟回収業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
・電子 manifests の更なる利用促進を行う。			
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名 日本メックス株式会社

(別紙)

産業廃棄物の種類	(第2面)		(第3面)		自ら回収し 行った量	自ら回収し より減量した量	(第4面) 自ら運立又は 委託した量	(第4～5面) (委託先の区分ごとの処理委託量)						
	実績 計画	排出量	自ら再生利用 を行った量	自ら再生利用 を行っていない量				全処理委託量 (自前計算)	優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の 熱回収業者		
1 がれき類	前年 実績	2,156.50t								2,156.50t				
	計画	2,000.00t								2,000.00t				
2 ガラスくず、コン クリートくず及び 陶磁器くず	前年 実績	10.15t								10.15t			0.70t	
	計画	10.00t								10.00t			0.70t	
3 廃プラスチック類	前年 実績	10.96t								10.96t	1.05t		9.50t	
	計画	10.00t								10.00t	10.00t		10.00t	
4 金属くず	前年 実績	13.22t								13.22t			13.22t	
	計画	13.00t								13.00t			13.00t	
5 安定型混合廃棄物	前年 実績	5.46t								5.46t			1.60t	
	計画	5.00t								5.00t			1.50t	
6 紙くず	前年 実績	2.18t								2.18t			2.18t	
	計画	2.00t								2.00t			2.00t	
7 木くず	前年 実績	41.23t								41.23t			41.23t	
	計画	40.00t								40.00t			40.00t	
8 珉石膏ボード	前年 実績	3.71t								3.71t			3.71t	
	計画	3.00t								3.00t			3.00t	
9 管理型混合廃棄物	前年 実績	8.48t								8.48t			2.50t	
	計画	8.00t								8.00t			2.40t	
10 石綿混合産業廃棄物	前年 実績	9.87t								9.87t			4.71t	
	計画	9.00t								9.00t			5.00t	